確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像・若松台学校群における重点目標

自己を高めようと努力し、自ら学び続ける子 ~教科教育・総合の学習の時間に探究する活動を通して~

<u>堺市立上神谷小学校</u>校長 藤木 敦史

令和6年度 重点目標

上神谷を探究する子どもの育成

~「自分はどう考えるのか」を大切にし、「自分の考えを発する活動」を通して~

「疑問・不思議に思う」 「情報を集める」 「比べる」 「まとめる・地域に発表する」

「確かな学び」の現状

- •「ふりかえり」を活用した授業づくりに取り組んでいる成果は出てきていて、意欲的に学習に取り組む姿勢が見られている。今年度は、自分のふりかえりから新たな探究課題を見出す児童の育成に取り組んでいきたい。
- ・「読書意欲の向上」の取り組みの成果が出てきている。読書タイムの確保、読書キングの表彰など、読書意欲が向上する 取り組みなどの引き続き取り組んでいきたい。
- ・文章を読み取り、読み取った内容を関係づけするなど、考えたことをわかりやすく記述することにやや課題が見られる。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・学習や対人関係を起因した不登校傾向にある児童が数名いる。児童とかかわる時間を確保するなど、不登校傾向にある子どもたちへの支援が必要である。
- ・体力・運動能力、運動習慣等調査では、堺市平均を上回っている種目が多い。しかし、ここ数年、投げる力に課題が見られた。また、運動する機会が減っており、引き続き体力の低下が見込まれる状況が続いている。
- ・自分からすすんであいさつする児童の割合が少ない。あいさつ運動など啓発活動に取り組んでいきたい。

	史	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期		進捗確認 (~10月)		達成状況(年度末)			
大 項 目	中項目									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎学	・基礎学力の定着をめざし、その力を基に探究し課題解決する力を向上させる。 ・読書量を増加させ、語彙量の増加と論理的思考の向上をめざす。	●自分の考えや友だちの意見からのふりかえりを 大切にすることで、自ら探究し続けるようにする	「ふりかえり」の5つの視点を参考に 自分の考えや友だちの考えからふり かえり、新たな課題を見出している。	児童のノート 教育アンケート	年度末	A	どの教科でも毎時間ふりかえりを実施し、子 どもたちのふりかえりから学習課題を設定 し、探究する環境づくりに取り組んだ。 読書ノートや読書キングの表彰を活用して、	A	授業のふりかえりや体験・探究活動のふりか えりでは、自分の気づきをしっかりと表現す ることができている。 読書ノートや読書キングの表彰を活用して、	A	自分の学習したことをしっかりとふりかえって、発表できていることは素晴らしいことだと思います。 家庭での読書啓発に取り組む必要がある。家	
	五		・朝読の時間を充実させ、読書ノートなどの活用 や読書キングの表彰などで読書量を増やす。	一週間に3年生以上は4日以上, 1・2 年は5日以上読書を行っている。	教育アンケート	年度末	A	読書意欲向上に取り組んだ。積極的に図書室 を活用して学習を進めた。	A	読書プートへ読書キングの表彰を活用して、 読書意欲向上につなげることができた。来年 度も引き続き実施していきたい。	A	家庭での記書各知こ取り組む必要がある。家 庭学習の課題とするなど、家庭でも読書する 習慣を身に着ける取り組みをお願いしたい。	
	授業	・どの授業でも探究する活動を 充実させ、児童用 PC を活用し た問題解決学習とわかりやす い授業を行う。	●前時のふりかえりを学習の導入に使うなど、学 びの連続性を意識した授業を実践していく。	前時のまとめを授業のめあて設定時 に想起する授業を行っている。	児童のノート	年度末	A	どの教科でも, 前時のふりかえりをもとに, 学習を進めることができている。	A	どの教科でもふりかえりを実施 前時のふりかえりをもとに、授業を進めている。 生活・総合の時間では、体験・探究活動を充実し、88%の児童が楽しいと言っている。	A	意欲的に、主体的に、楽しんで学習や探究学習に取り組んでいることは大変にうれしい	
	善		★児童用PC活用し、児童が主体的に「探究する」 授業づくりを意識した公開授業を全教員が行う。	「生活・総合」の学習は楽しいと思っ ている児童を80%以上にする。	教育アンケート	年度末	В	生活・総合の時間を中心に「探究学習」に取 り組んで学校全体で検証中	A		A	ことです。地域の教育材を活用して、引き続き充実をお願いしたい。	
豊かな心・健やかな体		・自尊感情を高めるために相手 を尊重し、思いやる心を育てる・互いを認め合う仲間づくりを たてわり活動などを通して行 う。	・たてわり活動の充実により、思いやりの心を育 て、いじめを許さない児童を増やす。	「いじめは悪い」という意識を持って いる児童の割合を100%にする。	教育アンケート	年度末	A	たてわり活動の充実し、高学年を中心に、思いやりのある活動ができた。	A	「いじめは悪い」と思っている児童は89%でしたが、いじめの認知があれば、迅速に対策委員会を中心にチームで解決した。「先生はほめてくれる」と感じている児童は93%と上昇し、安心安全な居場所づくりができた。あいさつをしている児童が83%と増加し、実際に登下校でもあいさつが増えている。	A	引き続き、チーム力を発揮し、いじめの認知 件数を増やし、迅速に対応願いたい。	
	心の教育の充実		・自尊感情を育てるために、教師のほめる活動や 上神谷ルームの活用を充実させ、子どもが主体的 に活動し、達成感を味わわせる。	「先生はまめてくれている」 と感じる 児童を95%以上にする。	教育アンケート	年度末	A	上神谷ルールを活用し、安心できる環境づく りに取り組むことができた。	A		A	自尊感情があがるように、学習面・生活面と もに支援願いたい。上神谷ルームの活用も引 き続きお願いしたい。 あいさつをする児童が増えてきているとい	
			・子どもたちがあいさつできるように啓発活動に 取り組み、自主的にあいさつできるようにする。	毎日,学校や地域で声を出してあいさつしている児童が90%以上いる。	生活アンケート 教育アンケート	年度末	В	「あいさつ」啓発活動を具体的に取り組むこ とができていない。	A		Α	うことなので、学校と家庭が連携して、啓発 活動に取り組んで欲しい。	
	健康な体	・日常的に運動する子どもを増 やし体力の向上を行う。 ・規則正しい生活を積極的に行 い健康的な毎日を送る。	・自己の成長をふりかえる授業構成の工夫を行い 運動が好きな児童を育成する。	運動が好きという児童が90%以上いる。	教育アンケート	年度末	A	かけ足やマラソン大会など体育的行事を実 施し、意欲的に取り組むことができた。	A	体育の授業は好きだと感じた児童が84% となり、意欲的に運動に取り組めている。 早寝・早起きしている児童が80%となり、 意識している児童が増加してきている。	A	今後も体力向上につながる取り組みを充実 させて, 運動が好きな児童を引き続き増やし	
	でくり		・生活リズムの基本である睡眠時間の大切さを理解させ、早寝・早起きの習慣を育む。	決まった時間に就寝している児童の 割合が増える。	教育アンケート	年度末	В	朝礼や児童朝礼で、早寝早起きの習慣を啓発することができたが、検証が必要。	A		Α	て欲しい。マラソン大会の代わりになる校内 記録会に期待しています。	
地域協働	開かれ	・地域・家庭・学校の協働をそれぞれが意識した教育活動の推進を行う。	各学年の教育課程に地域の様々な教育的資源を活用し、地域について探究する活動を充実する。	地域の良いところを知っている児童 が80%以上いる。	教育アンケート	年度末	A	生活・総合の学習で、「上神谷」について探 究する活動を積極的に実施した。	A	生活・総合の時間に上神谷を探究する活動を 充実させたことで、地域の良いところしてい る児童が80%と増加した。 地域の行事を知っている児童は、71%と増加したが、活用する活動が必要である。	A	今年度取り組んだ生活・総合の時間の探究活動をさらに充実させて、地域を愛する子ども	
	れた学校		朝礼・「校報・HPを活用し、学校・地域の行事を 積極的に発信し、児童・保護者に周知する。	地域行事について知っている児童と 保護者が90%以上いる。	教育アンケート	年度末	A	地域の行事や地域についての探究学習をしている児童の様子を積極的に、校内外に伝えることができた。	В		B ±	たちを育てて欲しい。 地域行事への参加や、周知をさらに実施し、 認知度をもう少しあげて欲しい。	

校長より(年度末)令和6年度の重点目標を「上神谷を探究する子どもの育成」と位置づけ、生活・総合の学習の時間を中心に、地域の人材や教育材を活用して学習に取り組んだことで、地域を知り、地域を愛する児童の割合を増加させることができた。また、「探究学習」に取り組むことで、主体的で対話的な学習を実施することができた。しかし、学校内のみでなく生活全般での読書機会の確保と、伝統的な地域行事の周知には今少し課題があると考える。来年度は、本年度同様に、上神谷地区にさらに着目して、探究学習に取り組む中で、本などの資料から情報を収集する活動を通して、地域を誇りに思い地域のみなさまに感謝の気持ちを表現できる子どもたちを育成したい。

学校関係者評価者から(年度末)今年度から、上神谷地区の教育材を活用して、探究学習に取り組んでいることは、地域を大切に思う人材の育成に貢献していると思います。来年度はさらなる充実を図って頂きたい。まだまだ、地域には豊富な人材がいらっしゃるので、活用して欲しい。